

# 台湾の幼児教育

岡崎 幸 司

台湾の幼児教育が日本で報じられることは少ないと思われるので、愚息がこの七月に卒業した私立幼稚園を例に台湾における幼児教育の一端を紹介したい。豚児が通学していた幼稚園は台湾各地に分校を擁しているとはいえ、米国資本であるため、台湾系の幼稚園とは異なる点が多々あるかもしれない。予めお断りしておく次第である。

## 台湾の幼稚園：概略

学年度は日本と異なり八月開始、翌年七月終了で、八月から翌年一月までが第一期、翌年二月から七月までが第二期となる。

台湾の幼稚園は三年制が一般的であり、小班（三歳）・中班（四歳）・大班（五歳）と称される。義務教育ではないため、四歳あるいは五歳から入園してもよいし、少なくとも私立幼稚園は定員（設備）に余裕があれば学期途中からの入園（転校）も歓迎する。

公立・私立を問わず、幼稚園は週休二日制であるが、中には土曜日や日曜日に〇〇教室を開講、どこの幼稚園児であろうと関係なく受講希望者を受け入れるところもある。

## 英語人気と英語名

愚息が通っていた幼稚園では小班・中班・大班とも「中美班」（中国語・米語クラス）、「全美班」（米語のみのクラス）が設けられている。小班は三歳ということもあり、園児のほとんどが中美班に所属するが、中班・大班になると全美班希望者が増える。米語（英語）が事実上の国際共通語であるうえ、日本でも知名度の高い李登輝元総統（ハーバード大学農学経済学博士）、馬英九現総統（ハーバード大学法学大学院修了）、ノーベル化学賞受賞者の李遠哲教授（カリフォルニア大学バークレー校化学博士）をはじめ、各界指導者の多くが英語圏留学組であることが影響していると考えられる。なお、英語の授業は、英語圏出身の先生が担当している。

米国資本の故であろうか、入園するときに英語名を届け出る。強制ではないものの、大部分の園児が英語名を登録する。園児たちが英語名で呼び合う姿はよく見かける光景である。台湾では黄・林・陳に代表されるように同姓が多く、園児の顔と名前を一致させるの

に苦労する。そのうえ、オリビアだの、マイケルだの、英語名を言われると、どの園児がどの名前なのか、筆者はますます見当がつかなくなった。

豚児の場合は当初、ノーベル経済学賞受賞者のクライン教授に因んでローレンス、貴族の香りがするサマセット（文豪モーム）、少々悪ふざけしてフランス流にアルセーヌ（怪盗ルパン）あたりを考えていたが、愚妻と相談して最終的には台湾名とほぼ同じ名前を英語名にした。これには理由がある。豚児の呼び方は人それぞれで統一されていない。筆者は日本名を日本語読みするだけであるが、愚妻・義父母などは日本名を中国語読みして呼ぶこともあれば、台湾名で呼ぶこともある。言うまでもなく、台湾の人々は台湾名で豚児を呼ぶ（豚児の台湾名は訓読みも可能であるが、台湾でそういう人にお目にかかったことはない）。このように豚児には三通りの呼び方があり、これ以上名前が増えると混乱するのでは、と考えたからである。

ところが、大班になってすぐに、英語名をテレビドラマの登場人物と同じエリックにする、と言い出した。卒園まで一年もないため家内ともども思いとどまるよう説得したが功を奏せず、やむなく担任の先生に英語名の変更をお願いした。ちなみに、義父母も筆者夫婦も豚児をエリックと呼ぶことはまずない。英語名は専ら家族以外の人が使うようである。

## 行事と授業

保護者が参加する主な年間行事は、園遊会、運動会、成果発表会、卒園式、先生との懇談会、日帰り旅行である。このあたりは日本の幼稚園と大きな違いはないのでは、と思う。

授業そのものは午前九時開始、午後四時終了である。園児は授業終了後三十分の予備時間をおいた夕方四時半から帰宅を始める。午後四時半少し前に祖父や祖母が迎えに来る園児もいれば、父や母が帰宅途中に立ち寄って親子そろって帰宅する園児もいる。また、スクールバスに乗って家に帰る園児も多い。授業時間は右記のようであるが、園児は朝七時二十分から入園可能で、夜七時過ぎまでいることができる。

授業は平日のみであるが、両親がともに土曜出勤という家庭に配慮して、祝日等を除く土曜日も開放、先生は輪番出勤で対応している。午後一時までは無料、それ以降午後七時までは有料となる。食事を必要とするときには食事代を負担しなければならない。

各クラスとも担任の先生がいる。担任の先生は園児一人一人について『生活記録本』（連絡簿）にその日の健康状態や授業態度さらには連絡事項を記入、園児は自宅に持って帰り保護者に見せる。保護者は目を通し、必要があれば要望などを書いて翌朝先生に返す、という毎日が続く。担任の先生は結構忙しいのである。

正規の授業とは別に、昼休みあるいは放課後

に武術教室（テコンドー）・音楽教室（ピアノ）・囲碁教室などが開催される。別途授業料が必要となるものの、応募する園児は多い。豚児は卒園するまで武術教室と音楽教室に参加していた。武術教室は同じマンションに住む同級生の誘い、音楽教室は愚妻の趣味（の押しつけ）による。一時期囲碁教室にも参加していたが、勉強の類が苦手な豚児には理解不能らしく、ほどなくしてやめてしまった。

## 中美班大班園児の一週間

愚息が在籍していた中美班大班的のクラス（男子十名、女子十六名）の第二学期における一週間は次のようであった。

教室到着から午前九時までは自由時間であり、クラスメートと遊んだりする。羊乳会社と契約している園児は、配達された羊乳を受け取る。午前九時から午前九時二十分まで簡単な運動、その後午前十時までは英語（月・木）、生活常識（金）の授業が行われる。

午前十時から午前十二時二十分まで朝のおやつ時間、午前十二時二十分から午前十一時までは英語（月・木）、学習時間（金）が続く。十分の休憩後、午前十一時五十分までの時間帯は陶磁器製作（月）、英語（火・木）、パソコン（水・金）となっていた。ただし、毎月第一金曜日の午前は園外活動時間に指定されており、観光バスに乗車して博物館をはじめとする近隣の名所旧跡を訪れる（雨天順延）。

午前十一時五十分から十二時半までは昼

食、昼食後は午後二時まで昼寝をする。午後二時から二時半までは音楽（月）、英語（火）、体育（水）、読書（木）、運動場の遊び（金）、二時半から三時まで学習時間である。三時から三時半まで昼のおやつ時間、三時半から四時まで算数（月・木）、日本語のひらがな・カタカナに相当する注音符号の勉強（火・金）、漢字ゲーム（水）にあてられていた。

最後に愚息の話をもとに園児たちに人気のあるテレビ番組に言及しておこう。男女園児ともに最も人気があるのがスポンジ・ボブである。男子園児と一部女子園児は、メタルファイブ・ベイブレード、爆竜戦隊アバレンジャー、仮面ライダーシリーズ（特にキバ、電王、ディケイド）、ウルトラマンシリーズ、レスキューフォースなど日本の番組（中国語への吹き替え版）もよく見ている。漫画・アニメ・テレビ番組における日本の存在感には大きなものがある。

寡聞にして台湾で幼稚園の「お受験」を耳にしたことはないが、小学校入学及び入学後については日本とは異なったタイプの競争が存在する。この競争、勉強に興味がない愚息にはまったく無縁なのであるが、なかなか興味深いものがある。いずれ紹介したいと考えている。

（おかざきこうじ 中華大学人文社会学院）